

Mac OS 用 Web 版付録 5 データの読み込みと呼び出し

5-3 保存したデータの呼び出し

<Mac OS 専用>

【注意】 Mac OS 用 Web 版付録 5-1 と 5-2 は、別のリンクにあります。

例えば、Mac OS 用 Web 版付録 5-1 で R コマンダーに取り込んだ Catfood01 のデータで分析を行い、R コマンダーを終了するとします。Mac OS 用 Web 版付録 3 で説明したように、R コマンダーを終了するときに表示される右の図のウィンドウでは、必ず **保存** を選んで終了します。すると、Catfood01 のデータが R コマンダー内に保存されます。そして、R コマンダーを後日再起動して同じデータの分析を再開しようとするときに、以下のような簡単な手順でデータを呼び出すことができます。



保存したデータの呼び出し (R コマンダーを再起動した場合)

Mac OS 用 Web 版付録 5-1 で取り上げた Catfood01 のデータを R コマンダーに一度取り込んで作業を終了し、後日 R コマンダーを再び起動して Catfood01 のデータを利用することを前提にして説明します。

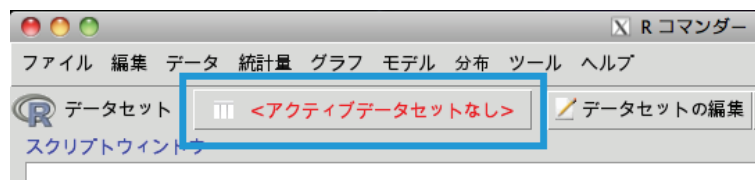
1. 操作説明図 M53-1 は、R コマンダーを起動した直後の状態です。R コマンダーのウィンドウの左上にある「データセット:」の表示は、赤で

<アクティブデータセットなし>

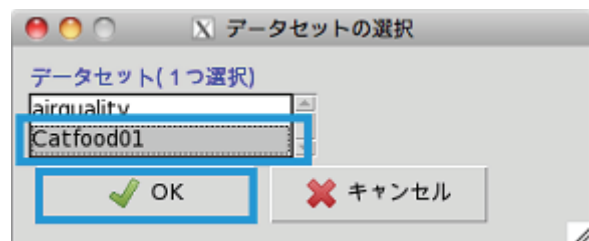
となっているはずですが、

この赤色表示の上をクリックすると、操作説明図 M53-2 の「データセットの選択」のウィンドウが開きます。

操作説明図 M53-1



操作説明図 M53-2



2. **データセット (1つ選択)** の選択肢で、すでに取り込んである Catfood01 を探してクリックして反転表示させ、**OK** をクリックします。R コマンダーのウィンドウに戻ります。

操作説明図 M53-3

- 操作説明図 M53-3 のように、R コマンダーのウィンドウの「データセット：」の表示が `Catfood01` になれば呼び出し完了。



保存したデータの呼び出し方法は、R コマンダーの起動中に分析対象のデータを差し替える場合にも使えます。

保存したデータの呼び出し（データを差し替える場合）

Mac OS 用 Web 版付録 5-1 で取り上げた `Catfood01` と Mac OS 用 Web 版付録 5-2 で取り上げた `airquality` がいずれも R コマンダーに取り込まれているとします。そして、これまで `Catfood01` のデータを分析していたとして、これを `airquality` のデータに差し替える場合を例にして説明します。

操作説明図 M53-4

- 操作説明図 M53-4 は、`Catfood01` のデータを分析している場合の R コマンダーのウィンドウ上部です。「データセット：」の表示は、青で

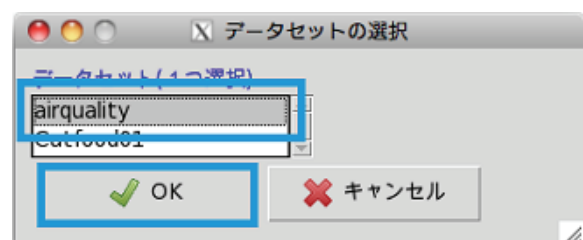
`Catfood01`

となっています。

この青色表示の上をクリックすると、操作説明図 M53-5 の「データセットの選択」のウィンドウが開きます。



操作説明図 M53-5



- `データセット (1つ選択)` の選択肢で、すでに取込んである `airquality` を探してクリックして反転表示させ、`OK` をクリックします。R コマンダーのウィンドウに戻ります。

操作説明図 M53-6

- 操作説明図 M53-6 のように、R コマンダーのウィンドウの「データセット：」の表示が `airquality` になれば差し替え完了。

